

平成30年4月19日

総合計画を推進する総額1,500億円の282事業 ～総合計画第3期実施計画と中期財政見通しの策定～

市のまちづくりの指針である総合計画に基づき実施する事業について、年次ごとの具体的な執行計画と事業費を明らかにする実施計画を作成しました。計画期間の平成30年度から平成32年度の3ヶ年で総額約1,500億円の事業費を見込んでいます。

これに併せ、現行制度や消費税率の引き上げなどを考慮しながら財政の収支見通しを試算しました。現段階では各年度に財源不足が生じる結果となりましたが、財政調整基金などを活用し必要となる財源を確保できる見通しとなりました。

記

1 実施計画

市総合計画後期基本計画（※1）に基づき実施する施策・事業の実現に向けた具体的な執行計画です。毎年向こう3年間を計画期間とし作成します。今回策定した実施計画は平成30年度から平成32年度を計画期間とします。

※1基本計画：自治体の将来目標や基本的施策を実現するために必要な手段、施策を体系的に明らかにするもの。

2 計画の範囲

道路や施設整備などいわゆるハード事業のほか、市の重点事業として位置付けられるソフト事業が対象となります。一方、義務的経費（※2）や経常的経費（維持管理費等）は対象外としています。

※2義務的経費：職員の給与、生活保護や児童・老人福祉費等、借入金の返済

3 掲載した主な事業

総合計画を推進するとともに、将来に向けて夢が持てる新しい福島の創生を確実に具現化するため、「ひと・暮らしいきいきふくしま」「産業・まちに活力ふくしま」「風格ある県都ふくしま」の3つの政策目標を掲げ、「元気あふれる福島の新しいステージ」の実現を目指す事業を掲載しました。（別紙添付資料参照）

4 中期財政見通し

実施計画との整合を図りながら、平成34年度までの一般会計の財政見通しを作成しました。なお、当試算は将来の予算編成を拘束するものではなく、国の行財政改革等の動向により変動するものです。

5 公表方法

4月20日（金）から市ウェブサイトへ計画書等を掲載します。

また、市立図書館と市民情報室（市役所1階）へ計画書冊子を設置します。

担当：政策調整課 総合計画係
課長 後藤、係長 伊勢
電話 024-525-3788 直通